

Handwritten signature or mark at the top center.

「マラリア」傳播性ニ關スル既往知見
「ニューギニア」ニ於ケル「アノフェレス」竝ニ

昭和十八年十二月二十二日

輝部 隊 複 寫

防瘧指導部

(86)

0275
~~0263~~

ニユーギニア」ニ於ケル「アノフェレス」並ニ
其ノ「マラリア等」ニ關スル既往ノ知見

ニユーギニア民政府衛公局

海軍誌 森 下

齋

マラリア防遏實施上最モ重要ナル基礎的知見ヲナスモノハ「アノフェ
レス」ニ關スル諸問題ナルヲ以テ、先ヅ之レガ知見ヲ整備セサル可カラ
ス。余ハ現地到着以來「マノクワリ」ヲ中心トセル地域並ニ巡察ヲ遂ケ得
タル他地方ノモノニ就テ其ノ調査ヲ行ヒ來タレルモノヨリ其ノ範圍ハ尙
極メテ局部的ナルヲ免カレス。今後漸次其ノ地域ヲ擴張ヲ期スルモノナ
リ、然レ共從來本地ニ於テ行ハレタリ調査既ニ若干アリ、其ノ成績ニシ
テ參考トナリ得ルモノ少ナカラザルヲミナラス、ソレニ基キ發足スルヲ
寧ロ合理的トナスヲ以テ從來ノ調査報告ヲ涉獵シ其ノ知見ヲ整備ニ努メ
タリ。

「ニユーギニア」ニ於ケル「アノフェレス」ニ關スル既往ノ研究

(97)

ニユーギニア及び其ノ屬島ニ於ケル「アノフェレス」ノ研究ハ大部分
蘭人學者ノ手ニ依ルモノニシテ主トシテ一九二〇年以後ニ成レルモノト
ス。即チフシロ、ブルツ、スウエツレングレイベル、デルツク、フアン
スローテン、フエンハイス等ノ研究ニヨリ今日ノ知見ニ到達セリ。
右ノ研究ハ舊蘭領ヲ對象トシテナサレタルモノナルモ、舊蘭領ニ及ボ
シ得ルモノニシテ、從來英系學者トシテ本方面ニ手ヲ染メタルモノ、テ
「ラー」等若干アルモ、分布ニ屬スルモノノ倣本知見ニ貢獻セル外多ク
サルニ如シ。

右ノ内ブルイフノ研究最モ著明ニシテ、一九二六年舊蘭印ニ於ケル「ア
ノフェレス」ノ分布ヲ論シ「ニユーギニア」ニ於ケルモノニ及ビタルガ
其ノ後ビ。トラベスチツス（一九二八年）、「ア・ロンギロストリス」
（一九二八年）、「ア・ロンギロストリス」變種「ア・ロンギロストリス」
（一九三〇年）、
「ア・インコグニツス」（一九三一年）等ノ新種又ハ新變種トシテ記載シ
本場「アノフェレス」ノ知見ヲ大ニ進展セシメタリ
スシロハ「ビ・ワルミ」（一九三二年）ナル新種ヲ加ヘルト共ニフアン

88

0277

スロウランド共ニ本地ニ甚ダ賈ク分布セル「ピ・バプアエ」
「ビ」(一九三一年)、「ブル」(一九三一年)ノ二變種アリトシ、尙ス
トリツクランド(一九三一年)ノ記載セル「ピ・スシロイ」ヲモ「バプ
アエ」ノ變種トセリ

フエンハイスハ「メラウケ」ニ存在セル間附近蚊族ノ調査ヲ行ヒ、新
種「メラウケシス」及ビ「ブンクチユラツス」ノ新變種「ノバギネンシ
ス」(一九三三年)ヲ記載セリ

本地ニ於ケル「アノフェレス」ヲ綜括的ニ取扱ヘル者ニ前記ブル「フ
ノ後スウエツレングレ」ベル及ロー「デンワルド」(一九三二年)アリ

即チ其ノ類即「アノフェレス」モノグラフ(一九三二年)ニ本地ヨリ報告
セラレタルモノトシテハ一八種ヲ掲ゲ、尙存在不確實ノモノ二種アルヲ
記セリ。「ゲルツク」(一九三八年)ハ「ニューギニア」ニ關スル成書中嚮
生ノ類ニ於テ同地産アノフェレストシテ一四種ヲ掲ゲ、ボンネウエ
スター(一九三八年)ハ「ニューギニア」ニ於ケル蚊族分布ヲ論ジ「ア
ノフェレス」類一七種ニ就テ動物地理學的考察ヲ遂ケタリ

余ハ長ニ（一九四〇年）西太平洋岸及諸島ニ於ケル「アノフエレス」ノ分布ニ関シテマリアナ傳播性ヲ論ジ、本地産ノモノトシテ一六種ヲ記シ、但シ後述ニ於テハ、本種ノ更ニ數種ヲ追加スベキ事ヲ知リ得タリ。

以上記述ノ諸種ニ綜合スルニ、今日迄「ユニギニア」全土及屬島ヨリニ見出セシ「アノフエレス」ハ二十四種ニ達ス。其ノ内各クハ種類ハ出産地ヲ區別セシメ、種名ハ「島ラレ」府ク分布セルモノハ少數ニシテ、其ノ又諸島ニ出産セルモノハ「ユニギニア」果シテ本地ニ存在スルヤ否ヤニ尙確信性ヲ欲スルモノアリ。カカルモノニハ將來調査ノ結果其ノ存在ノ抹消セラルルニ至ルモノアリ。一方本地ノ如ク人跡未踏ノ地多キ地域ニアラハ今後調査ノ進展ニ依リ、更ニ種類ノ増加並ニ分布地ノ擴大ヲ充分期待シ得ルモノナラズ。

本地ノ産地地誌學上於諸島ニ屬スルガ故ニ既知「アノフエレス」ニ關シテモ諸島ノ共同ノモノ少ナカラズ。斯コル「アノフエレス」相ハ一部ハ「ユニギニア」ノ諸島ニ延長セラル、モ後者ニ於テハ多少

0278

90

來區的色彩ヲ混スルニ拘ラス「ニューギニア」ニアリテハ斯カル色彩極
メテ少ナク、且本地特有ノ種類モ少ナカラサルナリ

「ニューギニア」ア「アノフエレス」ノ分類

本地ニ於ケル「アノフエレス」類ハビロネラ及「アノフエレス」ノ二屬
ニ配セラル 此ノ内「ビロネラ」ニ「ニューギニア」及附近屬島ノミニ
見ラルル特殊ナルモノニシテ原始性ト考ヘラルル多クノ點ヲ存ス 之レ
ヲ更ニ二重屬ニ分類ス 「アノフエレス」屬ニシテ本地ニ産スルモノモ亦
二重屬ニ配セラル 之レ等ノ分類ニ從ヒ既知「ニューギニア」産「アノフエ
レス」ヲ配列セバ別表ノ如シ

(91)

0280

(1) 屬 *Bironella* Theobald

(A) 亞屬 *Bironella* Theobald

- 1) *Bironella* (*Bironella*) *gracilis* theobald, 1905
- 2) *Bironella* (*Bironella*) *papuae* Swellengrebel, 1920
- 3) *Bironella* (*Bironella*) *pupae* var. *derooki* Soesilo et van Slooten, 1931
- 4) *Bironella* (*Bironella*) *papuae* var. *soesiloi* Strickland, 1931
- 5) *Bironella* (*Bironella*) *papuae* var. *brugi* soesilo et van Slooten, 1931

(B) 亞屬 *Brugella* Edwards

- 6) *Bironella* (*Brugella*) *travestitus* Brug, 1928
- 7) *Bironella* (*Brugella*) *walchi* Soesilo, 1932

(2) 屬 *Anopheles* Meigen

(A) 亞屬 *Anopheles* Meigen

- 8) *Anopheles* (*Anopheles*) *insularum* Swellengrebel et Swellengrebel de Grasf, 1920
- 9) *Anopheles* (*Anopheles*) *aitkeni* James, 1930
- 10) *Anopheles* (*Anopheles*) *stagnaticus* Skuse, 1889
- 11) *Anopheles* (*Anopheles*) *barbirostris* van der Wulp, 1829
- 12) *Anopheles* (*Anopheles*) *barbumbrosus* Strickland et Chowdhury, 1927
- 13) *Anopheles* (*Anopheles*) *bancrofti* Giles, 1902

(B) 亞屬 *Myzomyia* Blanchard

- 14) *Anopheles* (*Myzomyia*) *amictus* Edwards, 1921
- 15) *Anopheles* (*Myzomyia*) *punctulatus* Donitz, 1901
- 16) *Anopheles* (*Myzomyia*) *punctulatus* var. *molluccensis* Swellengrebel de Grasf, 1920
- 17) *Anopheles* (*Myzomyia*) *punctulatus* var. *novaguinensis* Venhuis, 1938
- 18) *Anopheles* (*Myzomyia*) *engirostris* Brug, 1928
- 19) *Anopheles* (*Myzomyia*) *longirostris* var. *annulata* Brug, 1930
- 20) *Anopheles* (*Myzomyia*) *meraukensis* Venhuis, 1932
- 21) *Anopheles* (*Myzomyia*) *incognitus* Brug, 1931
- 22) *Anopheles* (*Myzomyia*) *philippinensis* Ludlow, 1932
- 23) *Anopheles* (*Myzomyia*) *karwari* James, 1903
- 24) *Anopheles* (*Myzomyia*) *subpictus* Grassi, 1899

各種ノ分布並ニ其ノ習性

ニユーギニア産ノモノトシテ報セラルル種類ニシテ、果シテ其ノ存在ノ確實ナリヤ否ヤ決定シ得サルモノアルコトハ既述セル所ナリ。又存在ノ確實ナルモ分布極メテ局限的ナルヲ以テ其ノ習性ノ明カナラサルモ亦存ス。以下各種ノ分布並ニ習性ニ就キ今日迄ニ明カナル範圍ニ於テ記述セントス。

ビロネラ屬

本屬ノモノハ「アノフエレス類」ニ於テモ極メテ特殊ナル位置ヲ占ムルモノニシテ成蟲ノ形態姿勢クレツクス類ニ近キ點アリ。種々ナル意味ニ於テ興味深キモノトス。本屬ニシテ「ニユーギニア」ヨリ報告セラレタルモノハ七種ナリ。

(1) ビロネラ・グラシリス

本種ハ最近迄アノフエレス「ビロネラ」ト呼バレタルモノニシテ、本地ニ於テハ「マノクワリ」「フヅクアアク」及南方デゴールル河上流ノ「タナメラ」ヨリ報告アリ。屬鳥ニテハ「スハウテン諸島」ニ見ラルル他

13

0282

「セラム」ハ「ハルマヘラ」及「ブール」ニ分布ス

發生地ハ原始林内ノ水溜又ハ降雨後ノ水溜ニシテ、原則トシテ停溜

水ニ見ラルルモ少數ハ流水ニモ發生ス。然レ共時ニ大河ノ縁邊ニテ腐

木又ハ水草ノ間ニ見ラレタルコトモアリ。何レモ原始林内ニシテ從來

伐開地ニ於テ見出サレタルコトナシ

(2) ビロネラ・バプアエ及ビ其ノ變種

「ビ・バプアエ」ハ比較的廣ク分布シ「デグール河上流地域北部ニユ

ーギニア即チ「ヘイルフィンク灣及ダムト灣沿岸ローン島、北西ニユ

ーギニア即チ「コカス」「カイマナ」「マノクワリ」ニ見出サル。本

種ハ濠洲ニモ存在ス

變種「デルーキ及變種「シロイ」ハ「ブミ」「ホランダア」ニ分布ス

變種「ブルヒ」ハ「デグール河上流」ニテ見出サル

之レ等ハ森林内ノ流水、遮蔽地又ハ日光直射地ノ濕潤地、小水溜ニ

發生スル他、大河（デグール河ノ如キ）ノ岸ニ見出サル、コトアリ、

成蟲ハ人家ニ飛來セスト云フ

94

0282

(3) ビロネラ・トラベステツス

本種ハ最初セラム島ノ「ビル」及ビ「エラブ」チ灣沿岸地ノサゴ椰子林ニ於ケル濕潤地ニ見出サレタルガ、尙ハルマヘラ「ノ」トベロ及ビ「ユ」ギニア「ノ」タナメラニモ認メラレタリ。即チ本地ニ於ケル分布ハ極メテ局限的ナルモノトス。

(4) ビロネラ ワルビ
スシロ「一九三一年」ハ「マ」ノクワリ地方アングアイ「ヨ」リ見出サレタル成熟幼蟲ニ本種及ビ「ビ」グラシリス「ノ」中間ノ性状ヲ有スルモノヲ記載セルガ其ノ成蟲不罔ナルヲ以テ同定ヲ保留セリ。

本種ハ「マ」ノクワリ地方アングアイ「ヤ」ベン島ワダビ及ビ南部ニ「ユ」ギニア「ノ」メラシケニ見出サレタリ。
ニ アノフエレス屬

(5) アノフエレス・エイトケニ及アノフエレス・インストラエフロールム

右二種ハ「ア」ノフエレス屬ニ於テモ無斑紋、成蟲ノ「ク」レツクス的姿勢等ニヨリ特殊ナル群ニ屬スルモノナリ。「ユ」ギニアニ於ケ

(96)

0284

ル從來ノ調査ニ依レバ前者ハ「マノクワリ」ニ後者ハ「ソロン」ヨリ見ラレタルコトアリト云フモ、其ノ同定ニ多少疑フベキモノアルヲ感ゼシム。何レニセヨ極メテ稀レナルモノナルベシ

之等ノ種類ハ遺骸地ニ發生シ、主トシテ山間流水ノ岸及澁溜、湧水ニ見出サル、モ時ニ山間ノ濕潤地、又ハ河口近キ地ニ見ラル、コトアリ

(6) アノスエレス・スチグマチクス

本種ハ元來遼洲ヨリ報告セラレタルガ、「マノクワリ」陸在醫師カレアチガ「アシギ湖」ニテ採集セル幼蟲ニ本種ト覺シキモノアリ、スシロ（一九三三年）ハソレト遼洲産ノモノトヲ比較シ本種ニ相違ナキコトヲ確實ニセリ

爾來今日ニ至ルモ他地方ヨリ報告ナク「ニューギニア」ニ於テハ「アシギ湖」附近ニ局限セラレアルガ如シ

(7) アノフエレス・バルビロストリス

本種ハ馬來區ニ普通ノモノニシテ「ニューギニア」ヲ除ク舊蘭印

96

0285

各地ニ廣ク見ラルル。ニユーギニアニ於テハ「クルーピウオーク」
「フアクフアク」
「ソル」ヨリ報告アルモ元來馬來系ノ移動分布
ニ依ルモノト覺シク本地トシテハ重要性少ナキモノナルヘシ

沼澤、緩ヤカニ流ル、小河川ノ縁邊、養魚池、堀井戸等ノ清水ノミ
ナラス、時ニ非常ニ混濁セル水溜ニモ發生シ日光ノ有無ニハ影響セラ
レス 成蟲ハ人家ヨリ動物舎ニ多ク見出サス、モルモルニハ車輪好
性ノ弱キモノニアラス

(8)

アノフエレス・バルブツ
本種モ亦主トシテ馬來地方ニ見サス、
シ只僅少ノ差ヲ示スニ邁キス、紡織ニ於テ殆メアソト手履ヲカニ區別
シ得ラル、モノナリ

ニユーギニアニ於テハ「ソロン」ニ見出サレタルコトアル他報告
ナキモノノ如シ

(9)

アノフエレス・パンクワ
本種ハ主トシテ濠洲及ニユーギニアニ見出サル

97

0288

ニ於ケル分布ハ從來ノ知見ニ依レハ「ピオニーブルビウオーク」及「タ
ナメラ」ナリ。該地方ニ於テハ少ナカラサル數ニ本種ヲ見出スト云フ
即チ「タナメラ」ニテ捕獲セラル、成蟲ノ七五多ハ本種ナリ。然ルニ
幼蟲ノ發坐個所ハ久シク不明ナリシニ、一九三二年ニ至リ、モイニ依
リ始メテ明カニセラシタリ。即チ河川ノ淺所及ジャングル内ノ各種小
流ニシテ何レモ遮蔽地ナリトス。

本種ハ人血嗜好性強ク、遠距離ヨリ飛來吸血ス。

(10) アノフエレス・アミツクス

本種ハ濠洲ニ見ラル、モノニシテ「ニューギニア」ニ於ケル存在ハ
極メテ局限的ナルガ如ク、或キヤンプ地ニテ見ラレタリト云フ他分布
ヲ明ラカニセス。

(11) アノフエレス・ブンクチユラツス

本種ハ「ニューギニア」ニ最モ普通ニシテ流行學上重要性ノ極メテ
大ナルモノナリ。即チ舊蘭領各地ヘフアフアク。アルバトロスビウオーク、バ
タビヤウオーク、モータービウオーク、ピオニーヤビウオーク、タナメラ、イドラ、スハウテン

諸島、ホランデア、マノクワリ、メラウケ、ヘールフィンク灣沿岸各地ヨリ報告アルモ恐ラ
ク更ニ廣ク分布スヘシヨリ舊濠領各地ニ亘リテ見出サル他西方ハルマヘ
ラ、セラム及附近ノ諸島ニモ分布ス

本種ハ極メテ雑多ナル地物ニ發生ス、水質モ亦清麗ナルモノヨリ混
濁セルモノニ渡ル。即チ壕孔（井戸ヲ含ム）、降雨後ノ水溜、人工的
小溝、足跡ノ水溜、サゴ椰子ノ生育セル濕潤地等ノ他、窪地、海岸ニ
放置サレタル船底等ニ溜レル水及水松中等ニモ發生ス、其次ノ一ニモル
ツケンシス。ト異リ清麗ナル流水中ニハ見ラル、コト少ナキモノトセ
ラル（但此ノ點更ニ調査ヲ要ス）注意スヘキハ例外ナク發生地ハ日光
直射地ニ見ラルル點ナリトス

本種ノ刺蝟ハ劇ツカラス、不知ノ間ニ起ルヲ普通トス。通常夜間九
時以後ニ人家ニ襲來シ早朝最モ捕ヘ易シト云ハル

(18) アノフェレス・ブシクテユラツス變種モルツケンシス

本種モ亦前種ト共ニ本地ニ於テ盛モ實多ナルモノニシテ分布モ亦極
メテ廣ク益ニユキニアリニ見ラレ其人存在ハ前種ヨリ普通ナルモノト
セラル。即チ從來知ラレタル範圍ニ於テモ舊濠領内ニテハ、一ニカ

99

0288

ス「カイマナ」「フアクフアク」「アルバトロスビウオーク」「バタビアビウオーク」「
エータビウオーク」「アラウビウオーク」「タナメラ」「スハウテン諸島」「ソロン」「ホ
ランダア」等ニ見ラレタル他「マノクワリ」及「ヘルフィンク」諸沿岸各
節ニ於テハ前種トノ鑑別ナキ地アルモ、沿テ本種モ亦見ラレタル
ヘク少ナクモ「マノクワリ」ニ於テ本種ノ存在モルコトハ余モ亦確認
セリ

舊漆領ニ於テモ最モ重要ナル傳播地ニシテ廣ク分布セルモノノ如シ
本種ハ更ニ西方ノ諸島（ハルマヘラ、セラム、アルー島等）ニ分布
シ其ノ限界ハ大体ウエーベル線ナルモ、一部之レヲ越ヘタル地アリ
本種モ亦日光ヲ好ムモノニシテ、遮蔽地ニハ發達セザルヲ原則トス
即チ伐開地ノ種々ナル自然的及人工的水溜（持溜、間ハス）及流水ハ
相當ニ流レ早キモノニ時ニ大河ノ縁邊部ノ草間ニ見ラル。又時ニ半陸
水中ニモ發生ス。右ノ如クナルヲ以テ、原産地ノ傳播ニ依リ本種ノ發
生ヲ誘發スルコトアルハ「マクラツス」ノ場合ト同様ニシテ所謂マク
ラツスマラリア」ガ屢々人工的ナル

10-8

0289

ト同様本種ニ依ル所製「モルツケ
ンシスマラリア」モ亦人工的マラリアニ屬スルヲ普通トスト云ハル
而モ後者ノ場合、其ノ發生地物ニ對スル攪拌性ノ少ナキ點ハ甚ダシク懸
性ナルモノト云フヘキナリ

本種ハ地域ニヨリ頗ル多産スルモノニシテ、アルツタニ依レバ「デダ
ール河上流ニテハ」バンクロナ「ト共ニ最モ普通ナリ」人馬ノ糞等ニシテ

(13)

アノフエレハ・ンクテ・ラツス・ニ・ウ・キ・ネ・シ・シ・ス

本種ハ「エンハイ」(一九三三年)ガ「メラウ」河ノ沿岸カユイ及
ビ「ドシキ」フ間ノ「ゴ椰子林」中ノ小水溜ニ見出シ「モルツケ」ニ
ハ類似スルニ異ナル點アリトシテ「新發種」トシテ記載セルモノナリ
爾來發見セザレタル報告ヲ知ラズ、極メテ局限性ノモノナランカ

(14)

アノフエレス・ロンギロストリス及變態アヌタ

本種ハ最初「パールベータ」(一九二七年)ノ「チダール河上流」人家附

101

0590 0289

近叢林中ニ得タル一雌蟲ニ就キブルーフハ九二八年カ新種トシテ記
載セルモノニシテ「ブクテユラツス及「テツセラツス」ニ近似ノモノ
ナルモ、其ノ吻著シク長キ點ヲ特異トス

本種ノ分布ハ上流デグール河上流（タナメラ）ノ他フアクフアク及
ヘールフインク灣沿岸ニモ見ラル 本地外ニテハ「ハルマヘラ」「ブ
ール」「アルナシ」ヨリ報告アリ
發生地ハ原始林中ノ開ナル濕地ナルモ、大河ノ縁邊部ニデグール
河ニモ發生ス 相信間ニモハ見ラレス 成蟲ハ人家内ニ飛來スルニ
其ノ數少ナシ

變種アヌラタ「モ亦原始林中ノ沼澤地及ピソレヨリ出ズル小流ニ發
生ス 其ノ習性ニ就イテハ知ラル、所ナシ

(35) アノフェレス・メラウケンシス

本種ハ「フェンハイスガ」九三一年始メテ「メラウケ」ニテ見出シ翌
年同地ニテ再度見出シタルモノニシテ「イリツピネンシス」
ニ類スルモ成蟲ハ「アミツクス」ニ近キヲ以テ新種トシテ報告セリ

102

0291 0290

發生地ハ濕潤地帯ノ淺キ水溜ニシテ、水底ニ藻類アリ、又時ニ小澤、水田ニモ見ラレタリ、水ハ清麗ナルヲ普通トス、日光直射地ナリ

幼蟲ハ「フイリツピネンシス」又ハ「アヌラリス」ニ類似スルヲ以テ從來ソレト同定セラレタルモノアルヘシ

(15)

アノフエトス・インコクニツス
フレムダガ「メラウケ」ニテ採集セルモノ中ニ見出サレタル只一個ノ幼蟲ニ就キブルーフ（一九三一年）新種トシテ記載セルモ未ダ成

(14)

アノフエトス・フイリツピネンシス
本類ハ房察區ニ普通ナルモノニ「ギニア」ニ於ケル存在ニ就テハ

尙多少ノ疑訥アルモノニシテスウエンレングレイベル及ローデンワ
ドガ僅カニ「メラウケ」ニモ見ラルト記スルニ此ナル
モ從來ソレトセラル、ハ貝幼蟲ノミニ依ル所ニシテ爾モ本種ノ幼蟲ハ
前記メラウケシスニ類メテ近似ノモノナルヲ以テソレト混同セラ
レタルニアラズヤ、今後ノ調査ヲ必要トス

103

0292

(18) アノフエレス・ニブツクス

本種モ亦馬來區ニ普通ナル種類ナリ
見ラシキルモ兩方小島ミソールヨリ報告アリ
ヘラニ其ノ他ウエイベル線以東ノ諸島ニハ相當廣ク分布ス
ナルヲ以テ本種ヲニブツクスニテ其ノ屬島ミソールニ迄延長セルヲ以テ斯
ク取扱ヘルモノナリ

(19) アノフエレス・カルワリ

本種モニブツクスニ於ケル存在ニ就テハ種實ナラザルモノアリ
其ノ出所
聞ラカサシズ
ケル存在ニハシトセルモノアリ
本種モ亦馬來區ニハ廣ク分布ス

以上從來ニニブツクス及屬島ヨリ報告セラレタル種類ニ就キ記述セラル
之ヲ地理分布ヨリ見ルニ次ノ如ク云フコトヲ得

104

0293

ニエキギニアノミニ見ラル、モノ

(1) ビロネラ・デルーキ

(2) ビロネラ・スシロイ

(3) ビロネラ・スビーヒ

(4) ビロネラ・ワルヒ

(5) アノアエレス・インゴグニツス

(6) アノアエレス・ロングロストリス 變種 アヌラタ

(7) アノアエレス・メラウケンシス

(8) アノアエレス・クツラツス 變種 ノヴァギネンシス

ニエーギニア諸島ニ見ラルルモノ

X (1) ビロネラ・パプアエ

(2) ビロネラ・トラベステツス

(3) ビロネラ・グラシリス

X (4) アノフェレス・アミツクス

X (5) アノフェレス・スチグマテクス

105

0294

- X (6) アノフエレス・ブクテユラツス變種エルトケンシス
 X (7) アノフエレス・アंकテユラツス
 X (8) アノフエレス・パンクロアチ
 (9) アノフエレス・ロンギロストリス
 三 三ギニア及馬來地方ニ見ラルモ
 八 但ニユイギニアニ於ケル存在ノ疑ハシ中ニノヲ含ム
 (11) アノフエレス・エイトケニ
 (2) アノフエレス・イシスラエプロールム
 (3) アノフエレス・バルビロストリス
 (4) アノフエレス・バルヅラムヅヨス
 (5) アノフエレス・ワイリビネンシス
 (6) アノフエレス・スアピクツス
 (7) アノフエレス・カルワリ

四 三ギニア産アノフエレスノ「マラリ」ア傳播性ニ就テ

106

ニユーギニア¹ヨリ報告セラレタル¹アノフエレス¹ノ種類ハ上流ノ
如クナルモ其ノ内其ノ存在ニ就テ眞ニ確認ヲ要スルモノ若干アリ 又存
在確實ナルモ其ノ分布ノ極メテ少ナキモノトシテ可ナリ
カカルモノノ

「マラリア流行學」的意義ハ極メテ少ナキモノトシテ可ナリ
ニユーギニア¹ニ於テ廣ク分布シ或ハ局限性分布ヲ示スモ發生數多キ
モノハ「ブンクチユラツス」¹「ブンクチラツス」¹變種ナルツケンシス¹
「パンクロンチ」¹及「ピ」¹「バプアエ」¹ナルヲ以テ本地ニ於ケル「マラリア流
行」ニ關與スルモノハ之等ノ内ニ其メ得ルモノトシテ可ナリ

而シテ從來ノ調査ニ依レバ最初ノ三種ヲ以テ重要トシ、最後ノモノノ
「マラリア急播」ニ就テハ實證ナキモノノ如シ

(1) ブンクチラツス

本種ノ「マラリア」傳播性ハ今日確認セララル所ニシテ、既ニ舊獨領時代ニ
ブウォルフ¹「九〇四年」及「デーニツツ」¹（「九〇二年」）ハ舊獨領時代ニ
其ノ地域ニ於ケル重要性ヲ指摘セリ、但氏等ノ場合ハ其ノ極メテ普通ニ
存在セル點ヨリ間接的ニ論ジタルニ過ギス 然ルニ「マフユレー」¹「九

167

0296

二二年）八南セラム」ニ於テ其ノ自然感染ヲ認メ、續イテデルツク（一
 九二四年）ハ北ニユ、ギニア」ニ於テ多數ヲ判檢ノ結果不病二、六八名
 （月ニヨルハ一、五、五）ノ自然感染率ヲ得、其目録ニ於ケル患
 体ハ其感染ヲ認メタリ。爾來本種ノ危險性ニ就テハ多クノ間接的證明ア
 リ。其前申ル地域ニ於ケル感染ナルモノト目セラル
 但地域ニ依リテハ、本種カ多量ナルニ就テハ、マラリア發生ノ少ナキ
 コトアリ。マラリア下（一九二六年）ハマラリア及アマゾンニ
 テ少ナクトモ、一九二五年ニ於テ本種ノ見ラルルニマラリア少ナキニ反
 シ、穀料ヲ離レタル地域ニ於テハ本種ノ存在ニヨリ「マラリア」ノ多發ア
 リタルヲ報告セリ。カカル事實ハ「マラリア」及「アマゾン」ノ場合ニ
 告知ラルル所ニテ其ノ理由ハ未タ明カナラス。然レトモカカル事實ニ
 的テ本種ノ危險ナルモノトスルニ何人モ異論ナキ所ナリ

(2) ゾンクチニテツス 幾種モルツケンシス
 本種ハ感染率最も高キモノニシテデルツクガ「タナメラ」ニ於テ調査
 セル結果、次ノ感染ヲ認メタリ

108

0297

調査年月	検査数	感染数	感染率
一九二八年十一月	八	二	四・九%
一九二九年一月	六	三	八・三%
一九二九年一月	六	二	三三・三%
計	二〇七	一八	八・七%

即チカナル高キ感受性ヲ有スルト共ニ分布廣ク、且代爾地ニ多産スル性狀等ヨリ、本地ニ於テ最重要ナル「マリア」傳播者ト見做スヘキモノナリ

(3) バンクロフノ

本種ガ強キ人血嗜好性ヲ有スルコトハワルハ（一九三二年）ノ證明セラル所ナルガデルフクニ依レハ「タナメラ」ニ於ケル本種ノ自然感染率ハ四・三%ナリシト云フ。而モ個々ニ於テハ頗ル高度ノ感染ヲ示セルモノ少ナカラズ。其ノ存在セル地方ニ於テハ有力ナル傳播者ト目セラル

以上ノ如クナラフ以テ「ニユーギニア」ニ於ケル「マリア」流行ニ關與

109

0298

スルハ主トシテ右ノ三種ト以テ考セラル。依テ先ツ此ノ知見ニ立脚シテ
過方策ヲ立案スルト共ニ一方調査ヲ進メテ。果シテ之レ以外ノ重要傳播
者ノ存在ナキヤヲ以テスル要アリトス。

-24-

110

0299